

井上眼科 だより

2018.04
vol.104

Inouye Eye Hospital NEWS

西葛西・井上眼科病院

江戸川区立清新第一中学校 職場体験

西葛西・井上眼科病院 看護部 荒井 桂子

2018年2月5日から9日までの5日間、江戸川区立清新第一中学校の2年生、医師や看護師を将来の夢に持つ2名の職場体験学習を受け入れました。

病棟の看護体験では、ベッドメイキングや食事・おやつの下膳を一緒に行ったり、調剤補助、栄養士業務、外来での案内業務を体験したほか、手術室、外来処置室などの見学を行いました。また、白内障や緑内障の患者さまの見え方を想定したゴーグルをつけて院内を移動し、手すりを使って階段昇降などの疑似体験や、自分の呼吸音を聞いたり、お互いの血圧を測ってみるなど、患者さまへの接し方から患者さまの立場に立つことまで、様々なことを経験できたのではないかと感じています。

初めは緊張気味の二人でしたが、3日目には「おはようございます」と元気に患者さまにお声をかけ、笑顔でお話しをする姿が見られました。興味津々で質問し、真剣に取り組む姿勢に頼もしさも感じました。



院長先生から「医師としてのやりがい」など直接お話をいただきました。



お互いの血圧を測りあってみるなど、様々な経験をしました。

中学生の職場体験学習受け入れに際しましては、患者さまからも温かなエールと労いの言葉をかけていただき感謝いたしますとともに、ご協力をいただきまして誠に有難うございました。

第28回 知っ得セミナー開催のお知らせ **参加無料**

テーマ：「眼瞼下垂について」 **6月開催予定**

第28回知っ得セミナーは、『瞼(まぶた)』の病気についてです。当院の副院長・田中宏樹医師がわかりやすくお話しします。日程や詳細は決まり次第、院内掲示やホームページ等でお知らせいたします。

大宮・井上眼科クリニック

大宮・井上眼科クリニックは、6月で開院2周年を迎えます。開院当初は、手術が日帰りのみであることが、患者さまに受け入れていただけるのか不安に思っていたのですが、日帰り白内障手術を受けられた患者さまの術後アンケートからも、医師やスタッフの対応にご満足いただけた様子を感じ取ることができ、私たちを信じて任せてくださる患者さまに感謝するとともに、スタッフが一人となり、さまざまな困難を乗り越えてきた結果であると感じています。

当クリニックは、一般眼科外来に加え「緑内障外来」「小児眼科外来」「神経眼科外来」の専門外来を設けており、受診される患者さまも増えてまいりました。特に神経眼科外来のボトックス治療は定期的に通院する必要があるため、自宅近くで治療を受けられてよかったという声もいただいております。

これからも患者さまの声を真摯に受け止め、スタッフ一同、力をあわせて、患者さまにご満足いただける医療サービスを提供してまいります。

これからも大宮・井上眼科クリニックをどうぞよろしくお願いいたします。



川添賢志 院長

大宮駅に看板を掲出しています

JR大宮駅の中央改札口に、当クリニックの看板を掲出しています。ブルーが目印の看板です。ご来院の際に駅を利用される方は、チェックしてみてくださいね。



ご意見・ご感想を
press-agent@inouye-eye.or.jp
までお寄せください

QRコードを
読み取ると
メールフォーム
が開きます



発行：医療法人社団済安堂 井上眼科病院
www.inouye-eye.or.jp

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台4丁目3番地 ☎03-3295-0911

井上眼科だより

Inouye Eye Hospital NEWS

2018.04
vol.104



左から、山上明子医師、井上賢治理事長、若倉雅登名誉院長、若佐真弓医師

神経眼科外来は、視神経や網膜の病気や、眼球運動、眼の位置異常に関する病を主として扱っています。目は、脳とも共同作業してはじめて正確で快適な視覚が得られます。神経眼科では、視覚を眼球だけでなく、脳の仕事としてもとらえますから、快適な視覚が得られないで悩んでいらっしゃる患者さまに対して、一般の眼科ではとらえにくいいろいろな訴えの答えを見つけられることがあるのです。このため、患者さま一人ひとりのお話を十分に聞く必要がある場合もあり、診察の時間が長くなって、お待たせすることもあるかと思いますが、どうぞご理解いただけますと幸いです。

お茶の水・井上眼科クリニックの神経眼科外来は、山上明子医師と若佐真弓医師の二人が主に担当しており、若佐医師は大宮・井上眼科クリニックでも神経眼科外来の診療を行っています。複雑な症例では、私ども加えて風通しのよいコミュニケーションの中で検討する

ようにしています。西葛西・井上病院担当の河本ひろ美医師も加え、首都圏でも質の高い神経眼科外来となっていると自負しております。

当院の特徴は、全国でも最も「眼瞼けいれん」患者が多い施設のひとつであるのが特徴です。この病気は眩しい、目が痛い、目が開けにくいといった症状が出現し、日常生活に大きな影響を与えます。眼球にはほとんど異常がないことが多く、脳の誤作動によるものと考えられます。

なお、私は本院で、この眼瞼けいれんをはじめ、心理的要素がかかわるさまざまな目や視覚の異常を扱う「心療眼科」を中心に、予約特別外来を担当しております。

神経眼科グループは、視覚の問題で困っている患者さまの力になれるよう努力を続けますので、今後ともよろしく願いいたします。

井上眼科病院 名誉院長 若倉 雅登

井上眼科病院グループ

Advanced medical care for all generation

INOUE EYE HOSPITAL since 1881

井上眼科病院の神経眼科外来

井上眼科病院 名誉院長
若倉 雅登



1 神経眼科とは

物を見るときに視点を合わせ、眼から入ってきた視覚情報を処理する過程が神経眼科の領域です。目に入った情報は視神経から後頭葉に伝えられ、さらに脳内で解析されてはじめて意味のあるものになります。よって「物を見る」作業は、眼だけで行っているわけではなく、眼と脳が常に共同作業を行っており、眼と脳のつながりがとても大切です。

2 おもな病名や症状について

神経眼科で扱う病名や症状のおもなものを列挙してみましょう。さまざまな視神経症、複視(両眼でものが二つに見える)を起こす病気や眼球運動の異常、視覚のさまざまな不調(眩しい、光の粒子が見えるなど)、眼周囲の痛みや持続する不快感、瞼の異常、眼瞼下垂や眼球突出など多岐にわたります。脳の病気が目の症状として出てくることもあります。このように、眼球には必ずしも異常がない例も含め、一般の眼科ではなかなか理由がわからない問題に、神経眼科の視点、つまり脳のことも考えた診方をすることで謎が解けることもあるのです。

3 当院の神経眼科外来の特長

井上眼科病院は井上達二氏の有名な業績(下記記事)もあり、国際的にも神経眼科のメッカのひとつと目されています。手術や薬で治る疾患だけでなく、症状が長く残ることが多いのもこの領域の特徴です。その場合でも、症状がなぜ出ているのかを理解しながら、前向きに病気と付き合っていけるようお手伝いするのも大事な役割と考えております。

【井上眼科病院 神経眼科の歴史】

井上眼科病院の第7代目院長井上達二は、神経眼科の領域で大きな功績を残しました。1904年に起こった日露戦争で、頭に銃弾を受けて視野が悪くなった傷病軍人を診察して、銃創と視野の関係を深く研究し、「視覚中枢の鉄砲創による視力障害」の論文をドイツ語で発表しました。

この論文は約1世紀のときを経て2000年に英語で再び高く評価され、近代神経眼科の進歩と位置づけられました。



井上達二



全国で活躍中の井上眼科 OB の先生方を紹介！

みやけ眼科

野崎 康嗣 院長

1999年～2004年 井上眼科病院 在籍
2004年～2013年 西葛西・井上眼科病院 病棟医長・医局長
専門:網膜硝子体



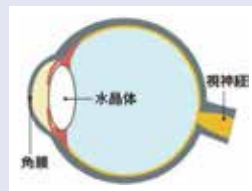
落ち着いた雰囲気の内観



野崎院長(左)と当院の井上(右)

は、当院の強みです。井上賢治先生を始め、諸先生方には、いつも丁寧に対応していただき、感謝申し上げます。」とお話くださいました。2013年に、恩師である三宅正晃先生から「みやけ眼科」を引き継がれ、現在は一般眼科外来診察、白内障手術、硝子体注射、眼瞼手術などを行っていらっしゃいます。「三宅先生から継承した当院で、これまで培った経験を活かして皆さまの目の健康を守るお手伝いをさせていただけるように努めます。今後も、スタッフ一同『患者さま第一主義』を実践すべく、微力ながら地域医療に貢献できれば幸いです。」

白内障は、80代ではほとんどの方が発症しているといわれています。ひとみ(瞳孔)のうしろにある水晶体(カメラでたとえるとレンズに相当するもの)が白く濁ってくる病気です。濁りが増すにつれて視力が少しずつ低下していきます。日常生活に不自由を感じたら、医師に相談しましょう。



○白内障の手術方法について



手術は、日帰りまたは入院で行ないます。翌日に術後の診察のために来院しなくてはならないことから、患者さまによっては入院の方が便利な場合もあります。

○眼内レンズの選ぶ時のポイントについて

目安として、術後にメガネをかけることにこだわりのない場合は「単焦点」、メガネはなるべくかけたくない場合は、「多焦点」がひとつのポイントです。また、車を運転する方や精密作業をされる方など、夜間に光がにじむ、見え方の鮮明さに差があるなどの注意点がありますので、慎重に選ばれることをおすすめしています。

医療法人社団 済安堂 理事長
井上眼科病院 院長
井上 賢治



○眼内レンズの種類について

当院で選べる眼内レンズは3種類です。「単焦点眼内レンズ」「多焦点眼内レンズ」「高機能多焦点眼内レンズ」のそれぞれの特徴をご紹介します。

(金額すべて税込)

	単焦点 眼内レンズ	多焦点 眼内レンズ	高機能多焦点 眼内レンズ
ピントの合う 範囲	狭い	広い	広い
見え方の質	良い ※ピントの合う部分のみ	おおむね良い ※単焦点よりは劣る ※夜間の光のにじみあり	良い ※乱視の矯正も可能 ※夜間の光のにじみあり
当院手術費用 (片眼)	保険適用 ※手術内容により異なるが、入院の場合3割負担の方で8万円程度(食事代込/室料差額別途) ※1	保険適用外 ※先進医療のため、民間の保険で「先進医療特約」などに加入していれば、補償の場合もレンズ+手術費で400,000円※2	保険適用外 ※当院ではレーザー白内障手術機器と組み合わせた「プレミアム白内障手術」が648,000円。乱視ありの場合702,000円。※3

- ※1 日帰り手術の場合は、各施設にお問い合わせください。
- ※2 先進医療の場合、手術前後の診察・投薬は保険診療となり、別途診療費がかかります。
- ※3 「プレミアム白内障手術」は全て保険適用外で、上記費用に手術前後の診察・投薬も含みますが入院費は別途です。

【プレミアム白内障手術説明会】

参加費
無料

お申込み・お問い合わせ 0120-48-4930
午前9:00～午後5:00(日曜・祝日・年末年始除く)

- 4月20日(金) 12:30～ 講師：井上賢治医師
- 4月28日(土) 15:30～ 講師：比嘉利沙子医師

- 5月12日(土) 15:00～ 講師：比嘉利沙子医師
- 5月19日(土) 15:30～ 講師：井上賢治医師

※説明会の日程は変更になる場合がございます。最新の情報は、ホームページでご確認いただくか、お電話でお問い合わせください。

「ライトアップinグリーン運動」に参加しました



世界緑内障週間(2018年3月11日～17日)に合わせて、日本各地のランドマークとなる施設をグリーンにライトアップして、「緑内障」の啓発を行なうイベントに当院も参加いたしました。緑内障の早期発見・早期治療につながる活動を今後も継続して行なっていきます。

ホームページが新しくなりました



井上眼科病院グループのホームページをリニューアルしました。パソコンでもスマートフォンでも見やすく、わかりやすいホームページを目指しています。ぜひ一度アクセスしてみてください!



しわ取りボトックス注射の説明会

眉間や目尻の表情じわに効果的な「しわ取りボトックス治療」を行っています。

- 5月12日(土) 13:30～
- 6月16日(土) 13:30～

参加費無料

※説明会は1時間程度の予定です。

お申し込み・お問い合わせ

お茶の水・井上眼科クリニック(屈折矯正外来)
☎0120-48-4930

午前9:00～午後5:00(日曜・祝日・年末年始除く)



【講演情報】

『加齢にともなう目の病気』
～白内障と加齢黄斑変性～

- 講師 井上眼科病院 院長 井上賢治
- 日時 2018年4月10日(火) 13:30～15:00
- 場所 よみうりカルチャー大宮

※お申し込みや詳しい内容は「よみうりカルチャーホームページ」をご覧ください。

